

殺虫殺菌剤

スタウトダントツ箱粒剤08

クロチアニジン・イソチアニル粒剤

令和3年10月27日付けで以下の適用拡大が登録されました。

【変更内容】

・作物名「稲（箱育苗）」の使用方法「育苗箱の床土又は覆土に均一に混和する。」および「育苗箱の上から均一に散布する。」に使用量「高密度には種する場合は1kg/10a（育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約5L）1箱当り50～100g）」を追加する。

【変更部分】

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	加チアニジンを含む農薬の総使用回数	イソチアニルを含む農薬の総使用回数
稲 (箱育苗)	いもち病 白葉枯病 もみ枯細菌病 穂枯れ (ごま葉枯病菌) 内穎褐変病 イネミズウムシ イネノコイシ ウカ類 ツマクロコバエ イネヒメガリバエ	育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5L) 1箱当り50g	は種前	1回	育苗箱の 床土又は 覆土に 均一に 混和する。	4回以内 (移植時 までの 処理は 1回以内、 本田での 散布、 空中散布、 無人航空機 散布は 合計 3回以内)	3回以内 (移植時 までの 処理は 1回以内、 本田では 2回以内)
		高密度に は種する場合は 1kg/10a (育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5L) 1箱当り 50～100g)					
		育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5L) 1箱当り50g	は種時 (覆土前) ～ 移植当日		育苗箱の 上から 均一に 散布する。		
		高密度に は種する場合は 1kg/10a (育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5L) 1箱当り 50～100g)					

次頁へ続く

前頁より続く

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	加アジンを含む農薬の総使用回数	イフニルを含む農薬の総使用回数
稲 (箱育苗)	イカカシ	育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5L) 1箱当り50g	移植当日	1回	育苗箱の上から均一に散布する。	4回以内 (移植時までの処理は1回以内、本田での散布、空中散布、無人航空機散布は合計3回以内)	3回以内 (移植時までの処理は1回以内、本田では2回以内)
		高密度には種する場合は1kg/10a (育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5L) 1箱当り 50~100g)					
	苗立枯細菌病 苗腐敗症 (もみ枯細菌病菌)	育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5L) 1箱当り50g	は種前		育苗箱の床土又は覆土に均一に混和する。		
		高密度には種する場合は1kg/10a (育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5L) 1箱当り 50~100g)					
		育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5L) 1箱当り50g	は種時(覆土前)		育苗箱の上から均一に散布する。		
		高密度には種する場合は1kg/10a (育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5L) 1箱当り 50~100g)					

使用上の注意事項の変更

【追加事項】

・育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約5L）1箱当りに乾糶として200から300g程度を高密度には種する場合は、10a当りの育苗箱数に応じて、本剤の使用量が1kg/10aまでとなるよう、育苗箱1箱当りの薬量を50から100gまでの範囲で調整すること。

使用上の注意事項などについては、製品に貼付されているラベルを参照のこと。

住友化学株式会社